

次の文章を読み、問に答えなさい。

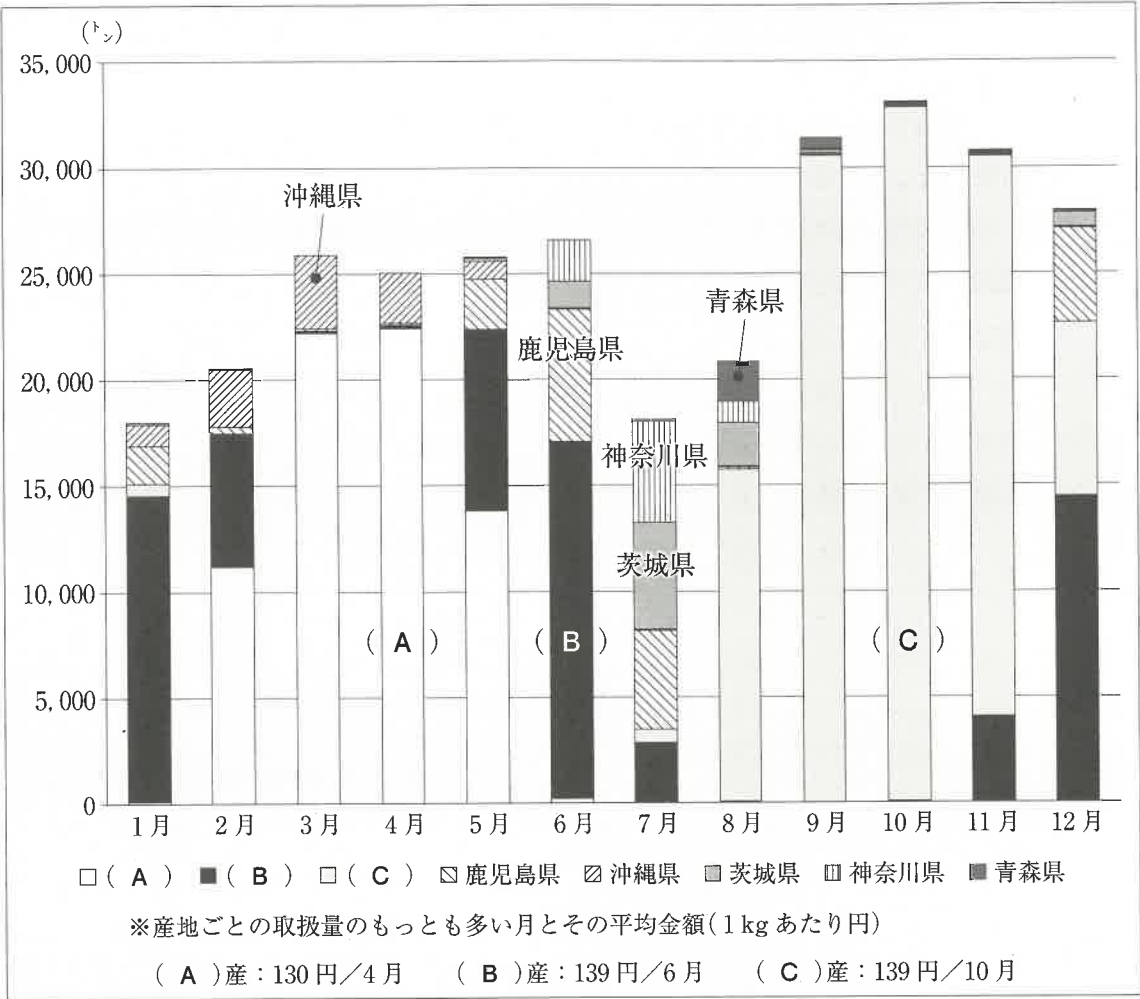
新型コロナウイルス^{かんせんしやう}感染症^{えいきやう}の影響により、人の移動が大幅^{おほば}に制限される期間が長く続いています。人の動きが制限されたために、インターネット注文の件数がさらに増し、宅配便の利用など日常生活での物流の重要性を意識するようになった人も多いと思います。

現代の日本において、迅速^{じんそく}で安全な物流が可能になる背景には何があるのでしょうか。中国^{ちゆうごく}の工場で製造された商品の原材料は、東南アジアなど他国から調達されている場合があります。その中国製造の商品は、大阪^{おおさか}の貿易会社が輸入し、インターネット注文をした東京の消費者に、宅配業者が指定時間通りに届けてくれます。原材料などの資源の確保や運搬^{うんぱん}を支える人たちの労働は重要ですし、安全な輸送のためには、道路や港・駅などの整備も必要です。

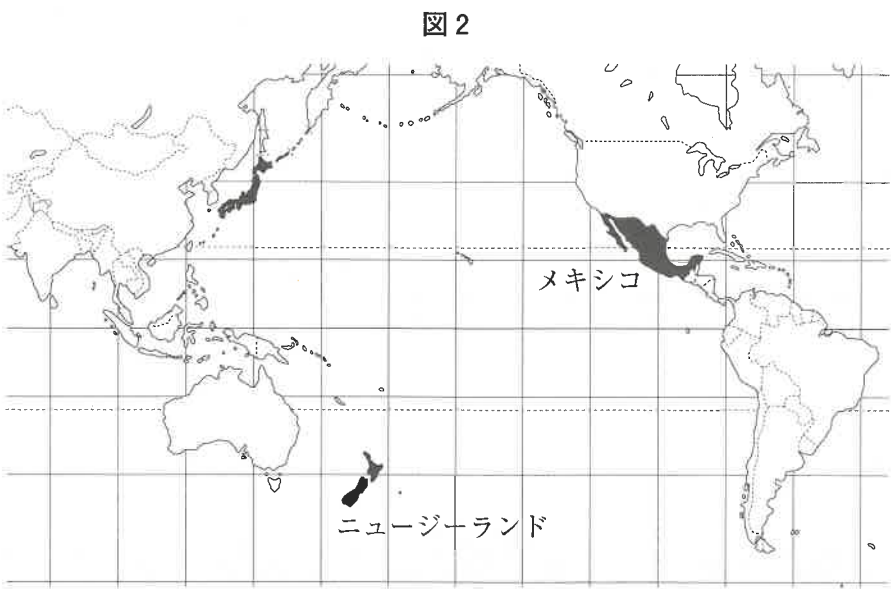
迅速な物流や情報伝達によって、われわれの日々の快適で便利な生活は成り立っています。国内だけではなく世界貿易の拡大に伴^{ともな}い、交通手段や情報網^{じやうほうもう}の発達を受けて社会は大きく変化してきました。物流の変化によるさまざまな影響について、以下の問を通じて考えてみましょう。

問 1 私たちの生活は、世界のさまざまな国や地域と強く結ばれています。食卓に並ぶ食べものは、多くの国や地域から運ばれています。図 1 は、東京中央卸売市場における「かぼちゃ」の産地別取扱量の上位 8 位(2019 年)までの国や地域(都道府県)について、その取扱量を月ごとに示したものです。

図 1 東京中央卸売市場における「かぼちゃ」の主な産地別取扱量(2019 年)



(「東京中央卸売市場統計情報」より作成)



(1) 図 1 の A～C には、東京中央卸売市場における「かぼちゃ」の産地別取扱量の上位 3 位までに入る北海道、ニュージーランド、メキシコのうち、いずれかの国や地域があてはまります。A～C の組み合わせとして適切なものを、下のア～カから 1 つ選びなさい。

- | | | | |
|---|------------|------------|------------|
| ア | A：北海道 | B：ニュージーランド | C：メキシコ |
| イ | A：北海道 | B：メキシコ | C：ニュージーランド |
| ウ | A：ニュージーランド | B：北海道 | C：メキシコ |
| エ | A：ニュージーランド | B：メキシコ | C：北海道 |
| オ | A：メキシコ | B：北海道 | C：ニュージーランド |
| カ | A：メキシコ | B：ニュージーランド | C：北海道 |

(2) 東京中央卸売市場における「かぼちゃ」の取扱量は、ニュージーランドやメキシコのように、現在は日本以外の産地も上位を占めています。東京中央卸売市場において、「かぼちゃ」を海外から仕入れることの利点を、図 1 および図 2 からわかることをもとに、説明しなさい。

問 2 日本は周囲を海で囲まれているため、さまざまな地域が海や川を通じて結びつき、使節や商人が行き来し、物のやりとりなどもおこなわれてきました。そのことについて述べた文として誤っているものを、下のア～エから1つ選びなさい。

- ア 佐賀県の吉野ヶ里遺跡からは、大陸から伝わったと思われる鉄器や青銅器、麻や絹で作った布、南方の貝で作ったうで輪などが出土している。
- イ 平安時代には平泉を中心に奥州藤原氏の勢力がさかえ、中国で作られた陶磁器などが、博多や京都を経由し、太平洋岸から北上川を通ってもたらされた。
- ウ 16世紀なかばに、ポルトガル人を乗せた船が長崎に流れ着き、鉄砲が伝えられ、まもなく鉄砲は博多や京都などでさかんに作られるようになった。
- エ 江戸時代、朝鮮の釜山には日本人の住む建物である倭館が置かれ、そこでは、対馬藩が江戸幕府の許しを得て貿易をおこなった。

問 3 税を、お金以外で納めていた時代もありました。奈良時代の日本では、国を治めるためのしくみ(律令制度)が取り入れられ、人々は税として①租や、織物・地方の特産物などを納めました。また、朝廷へ献上品(贄という)として、特産物を納めることもありました。このうち、絹や布などの繊維製品には、それを納める人の名前や、品目・数量・日付などをじかに書き入れることになっていました。一方で、稲や塩、さらに地方の特産物などを納める際には図3～図5で示したような()と呼ばれる②木の札を荷札(ラベル)として用いました。

図 3

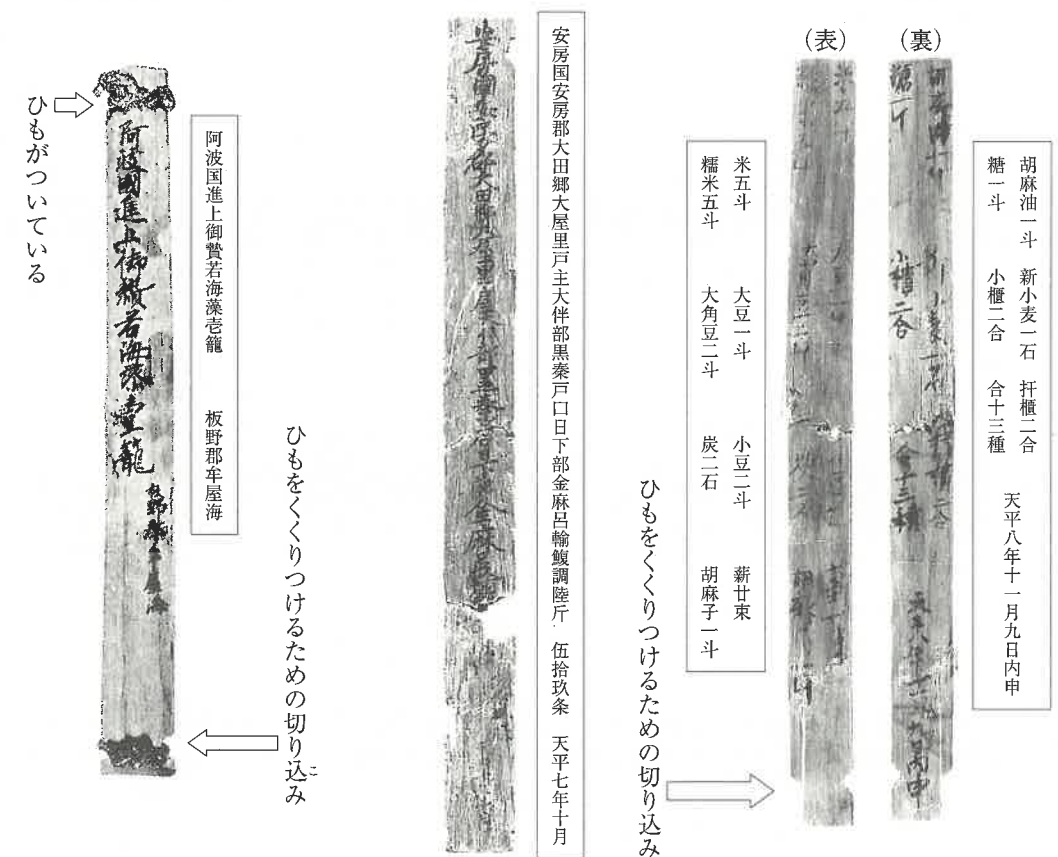
阿波国(現在の徳島県)牟屋海から平城京に運ばれた献上品のワカメのかごにつけられた荷札。

図 4

安房国(現在の千葉県)安房郡大田郷から平城京に運ばれた税のアワビにつけられた荷札。

図 5

表に米・小豆・炭などが記された荷札。裏も帳簿として利用された。



(図3～図5は奈良国立文化財研究所の資料より。荷札の横には記載されている文字を示した。)

(1) 下線部①に関して。律令制度のもとで、稲の収穫高の一部(多くの場合3パーセントとなった)を納める税は何ですか。適切な名称を漢字で答えなさい。

(2) 空欄()にあてはまる語句を、漢字2文字で答えなさい。

(3) 下線部②に関して。奈良時代の税を納めるときに木の荷札が広く用いられた理由について述べた文として誤っているものを、下のア～エから1つ選びなさい。

ア 当時の日本には紙を作る技術が伝わっていなかったため、木の札でラベルを作ることが広まった。

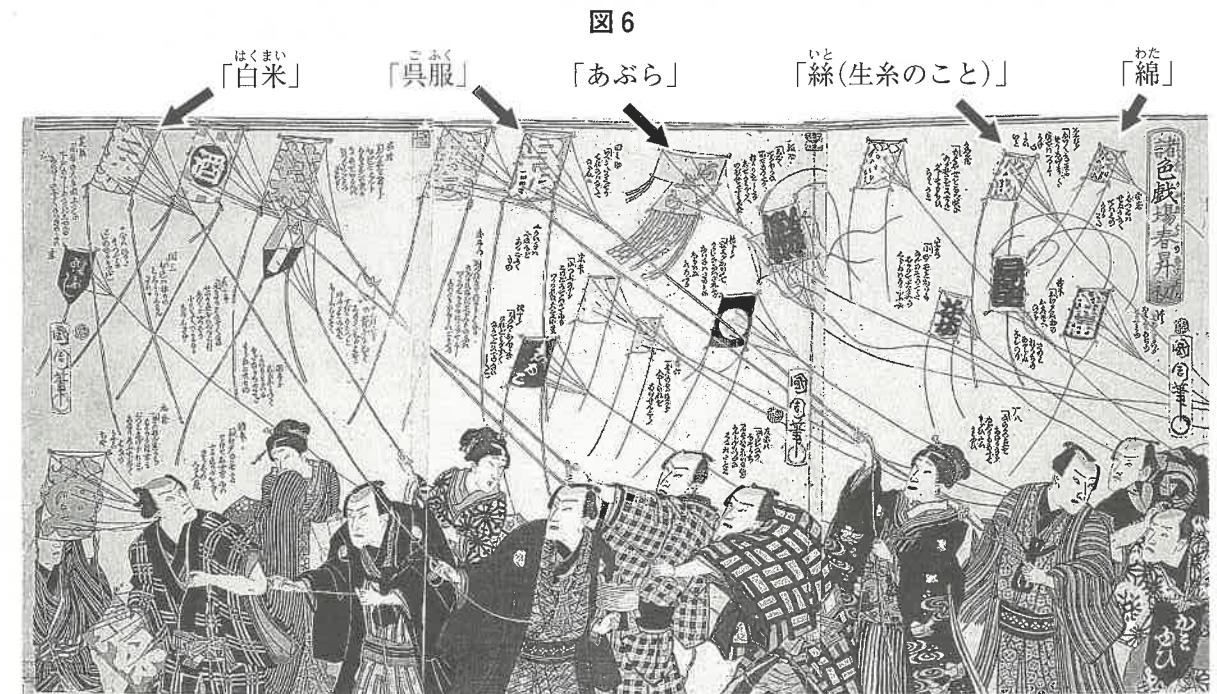
イ 米や塩などには直接書き込むことができなかったため、かわりに木の札に産地・品目・数量などを書いた。

ウ 木の札は耐水性があり、遠くの産地から品物を都に運搬するときにも、丈夫で壊れにくいという利点があった。

エ 木の札は、表面を削ったり、裏面を使ったりしてくり返し利用することができた。

問4 物流の変化が人々の暮らしに影響をあたえた具体的な例を見ていきましょう。

下の図6は、江戸時代末期に描かれたもので、当時の歌舞伎役者がたこあげをする様子を表しています。この図6は、江戸時代末期の物の値段(物価)の上昇を、たこあげの様子に見立てて描いたものです。図6の中で、上の方に描かれたもののほど、価格が上がったことを表しています。



とよはらくにちか しょうばいかぶ き はるのあげぞめ けいおう
(豊原国周「諸色戯場春昇初」, 1866(慶応2)年, 国文学研究資料館の所蔵資料より)

図6の中のたこに記された「糸」(糸)は、生糸(絹糸)をさしています。また、「呉服」は絹織物のことです。江戸時代には農業生産や手工業の発展により、江戸時代初めには輸入にたよっていた生糸もしだいに国産化が進み、それを材料とした絹織物の生産が西陣(現在の京都)や桐生(現在の群馬県)などの地域で活発になりました。しかし、江戸時代の終わりごろになると、生糸の価格には大きな変化が見られるようになります。8ページの表1は、その動きについてのものです。

表1 江戸時代末期の物価の変化(前年に対する物価の上昇割合, 単位は%)

年 項目	1857	1858	1859	1860	1861	1862	1863	1864	1865
生糸	2.8	5.6	21.1	35.7	2.5	0.5	31.6	47.6	21.0
米	14.8	31.0	△1.0	26.0	△1.8	△1.9	11.3	23.1	72.1

※表中の△はマイナスの数値(前年よりも物価が下落したこと)を示す。

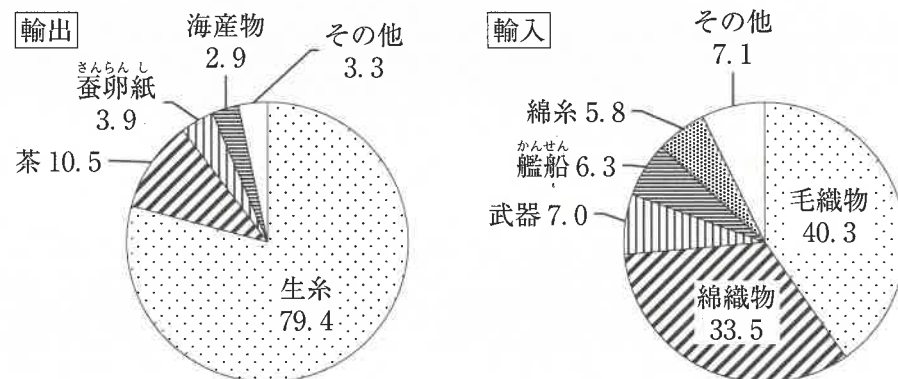
※参考として、生糸の他に米の価格の変化も示した。

※この表は、現在の大阪にあった市場での変動を例として示したものである。

(武田晴人『日本経済史』より作成)

表1では1859年に生糸の価格が大きく上昇し、1861～62年には一時的に上昇率がゆるやかになるものの、その後は引き続き上昇している様子がわかります。江戸時代の終わりに生糸や米の価格が上昇した理由として、凶作の発生や貨幣の改鑄(作り直し)があり、さまざまな物の価格上昇に影響をあたえたことが指摘されています。ただし、1859年以降に生糸の価格が大幅に上昇した理由は他にもあります。下の図7も参考にして、当時の日本が直面した出来事と、それによってもたらされた影響を考えながら、生糸価格が上昇する理由を説明しなさい。

図7 主要輸出入品の割合(1865年, 単位は%)



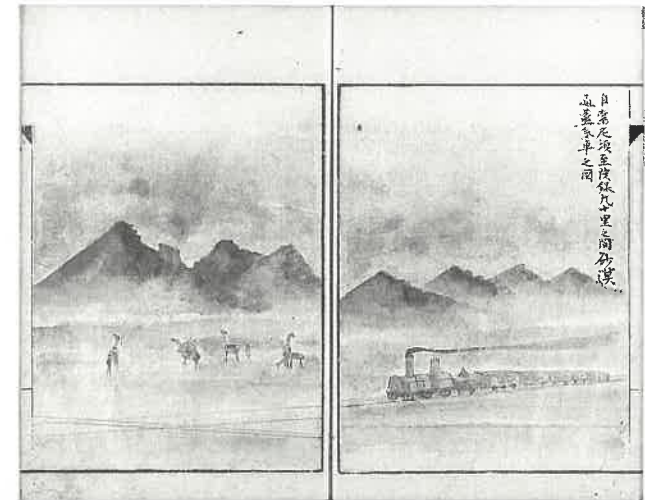
※図中の蚕卵紙は蚕の卵を産み付けさせた紙をさす。また艦船は軍艦などをさす。

(小学館『図説日本文化史大系』より作成)

問5 19世紀後半になると、アジアとヨーロッパの間の人やものの移動は、そのルートの変化でいっそうさかんになりました。

下の図8は、1862年に日本からヨーロッパへ向かった文久遣欧使節に参加した高島祐啓が書いた『欧西紀行』のものです。彼らは紅海(現在のサウジアラビアとエジプトに東西から挟まれている海)まで船で移動した後、カイロまで汽車に乗り、地中海を経由してヨーロッパに向かいました。ところが、1869年になると、図9のように紅海と地中海を結ぶスエズ運河が開通しました。

図8



(『欧西紀行』さし絵, 国立国会図書館所蔵資料より)

図9 日本からイギリスへの航路の例



(1) 文久遣欧使節のころは、この使節団の使用したルートが喜望峰まわりの航路で、アジアとヨーロッパは結ばれていました。その後スエズ運河が開通しましたが、この運河を使った場合、文久遣欧使節のころと比べて、人やものの移動でどのような利点があるのでしょうか。図8と図9を参考にして2つ説明しなさい。ただし、1度に運べるものの量や人の数の変化については、ここでは答えないこととします。

(2) この文久遣欧使節に同行したある人物は、下のようにエジプトの様子を書いています。彼は、ヨーロッパの強国の支配下におかれたエジプトを、貧しく怠惰な人々の土地だとしています。この内容が事実かは別として、彼はこうしたアジアなどの他国の様子から危機感をおぼえ、日本は国家独立のために、西洋諸国と並ぶように文明化しなければならないと、後に論じました。『文明論之概略』や、『学問のすすめ』を著したことで知られる、文久遣欧使節に参加したこの人物の名を答えなさい。

貧しい人が多くて町はさかえておらず、人々はかたくなで分別がなく、怠けていて、仕事に熱心ではない。法律も極めて厳しい。…カイロは数千年の旧都なので、あちこちに古跡がある。しかし今は落ちぶれてしまっている価値もない。

(『西航記』より抜粋)

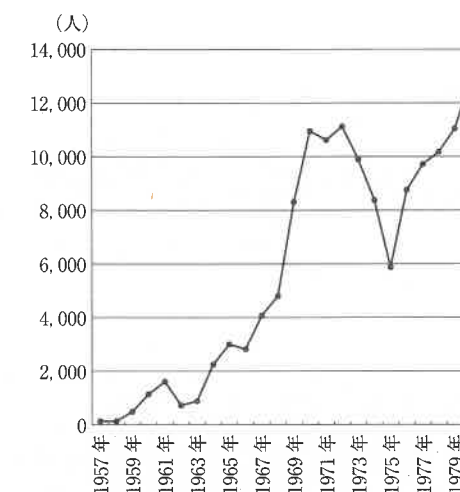
(3) 19世紀のなかば以降には、人やものの移動だけではなく、情報の伝わり方も変わりました。この使節団派遣から数年後の1869年に、東京と横浜の間で開業(設置)されたある情報伝達手段は、数年後には海外ともつながり、19世紀末には日本列島各地を結びました。情報がそれまでよりもはやく伝わるようになった、この通信手段を漢字で答えなさい。

問6 商品だけでなく、人もときには「労働力」として必要とされる場所へ移動します。

(1) 1950年代後半以降の高度経済成長期を支えたのは、集団就職による労働力でした。特に集団就職で都市部に移動した若年労働力を、当時は何と呼んだのでしょうか。3文字で答えなさい。

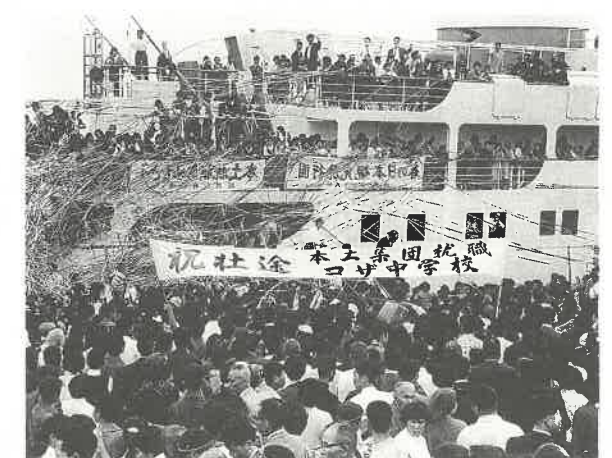
(2) 下の図10は沖縄から「本土」への就職者数の推移を示しています。図11のように、多くの若者たちが1960年代に集団就職として沖縄港から出航しました。彼らはパスポートを持って向かいましたが、それはなぜですか。

図10 沖縄からの「本土」への就職者数



(『人文地理』第56巻所収、山口論文より)

図11



(『沖縄戦後史 写真記録 1945-1998』

(改訂増補版)より)

問 7 港や空港は世界貿易の窓口であり、それぞれの港や空港における貿易の品目は、その地域で発達する工業と深く関連しています。表 2 は、千葉港、名古屋港、博多港、関西国際空港の 4 つの港と空港について、輸出額および輸入額の上位 3 位(2018 年)までの品目とその割合(パーセント)を示したものです。

表 2 主な港・空港の輸出および輸入品目とその割合(単位は%)

(A)				(B)			
輸出品目	%	輸入品目	%	輸出品目	%	輸入品目	%
集積回路用品	15.0	医薬品	18.4	自動車	25.0	液化ガス	8.5
科学光学機器	7.8	通信機	17.1	自動車部品	17.5	衣類	7.1
電気回路用品	6.7	集積回路	6.0	金属加工機械	4.4	石油	6.7

(C)				(D)			
輸出品目	%	輸入品目	%	輸出品目	%	輸入品目	%
集積回路	25.2	魚介類	7.4	石油製品	23.7	石油	56.9
自動車	23.2	衣類	5.6	鉄鋼	18.0	液化ガス	16.7
タイヤ・チューブ	5.2	家具	5.3	自動車	17.2	自動車	8.3

(『日本国勢図会 2019／2020』より作成)

- (1) 表 2 の A～D の港・空港の組み合わせとして適切なものを、下のア～カから 1 つ選びなさい。
- ア A：関西国際空港 B：名古屋港 C：博多港 D：千葉港
イ A：関西国際空港 B：名古屋港 C：千葉港 D：博多港
ウ A：関西国際空港 B：千葉港 C：博多港 D：名古屋港
エ A：博多港 B：名古屋港 C：関西国際空港 D：千葉港
オ A：博多港 B：千葉港 C：関西国際空港 D：名古屋港
カ A：千葉港 B：博多港 C：関西国際空港 D：名古屋港

(2) 表 2 のうち、扱う貿易金額(輸出額と輸入額の合計)がもっとも高い港・空港を、A～D から 1 つ選びなさい。

(3) 表 2 のうち、輸入額の方が輸出額よりも多い港・空港が 1 カ所だけあります。A～D から 1 つ選びなさい。

問 8 交通網の発展は人々のくらしに恩恵ばかりをもたらしたわけではありません。大阪国際空港の離着経路の真下に住む住民が、飛行機の騒音や振動の被害を受けているとして、1969 年に夜間飛行の禁止と損害賠償を請求する裁判を起こしました。

- (1) 住民の訴えは、よりよい環境に住む権利、すなわち環境権に結びついています。環境権は日本国憲法に直接明記はされていませんが、社会の変化を反映して主張されるようになった新しい人権のひとつです。環境権のように、新たに権利として主張されるようになったものを、下のア～エから 2 つ選びなさい。

- ア 正社員が減りパートやアルバイトで働く人が増えたため、働く人が会社に対して団結する権利が主張されるようになった。
イ インターネットでの情報発信が誰でも容易にできるようになったため、顔写真や個人の情報を公開されない権利がより主張されるようになった。
ウ 人口が集中する東京から地方へ移住する人が増える中で、住むところや職業を自由に選べる権利が主張されるようになった。
エ 市民が行政に主体的に関わり適切な判断ができるように、行政機関がもつ情報の公開を求める権利が主張されるようになった。

(2) 裁判について述べた文として適切なものを、下のア～エからすべて選びなさい。

- ア 最高裁判所の長官は特別に重要な立場であるため、国会が指名する。
イ 未成年者が被告人である場合の裁判は、すべて簡易裁判所でおこなわれる。
ウ 裁判所は、法律が憲法に反していないかを判断する役割をもっている。
エ 裁判官をやめさせるかどうかを判断する弾劾裁判所は、内閣が設置する。

問 9 人の移動が感染症対策により制限されましたが、物流は日々止まることなく続いています。飲食店の営業にも制限が設けられましたが、宅配サービスやテイクアウトを利用することで、お店の味を楽しむことができます。一方で、ほしかった商品が届いた後のことも考える必要があります。例えば、^{ほうそう}包装容器などのプラスチックごみの処理が問題になっています。

地球の表面の7割を占める海に、プラスチック片の^{へん}流れが生まれている。^{ぎょ}魚介類が取り込み、それらを食べる人間の健康にも影響する懸念が高まってきた。…ハワイ島にたどり着くごみの多くは数年から10年ほどかけて中国や日本、^{かんこく}韓国などの東アジア諸国からやって来たものだと推定されている。
(中略)
(海辺の清掃を主宰する団体の)ハワイ・ワイルドライフ基金は、ごみの発生地を調べることはしていない。(その理由をスタッフにたずねると)「プラスチック製品の原料、加工、流通が国境を^こ越えてグローバル化している時代だ。特定の国の責任を問うことにあまり意味はない。私もプラスチック製品の消費者の一人だ」と答えた。

(朝日新聞 2017 年 11 月 5 日掲載の^{けいさい}記事より一部抜粋・補足)

※海洋ごみの中で、近年国際的な注目を集めるようになったのが「マイクロプラスチック」と呼ばれるプラスチック片による海洋汚染。プラスチックは、^{ひょうりゅう}漂流するうちに紫外線や風波などによって細片化されていく。プラスチックごみの例は、レジ袋・ペットボトル・食品用トレイ・漁具など。

(1) このような地球規模の環境問題は、ある国だけが努力をすれば解決できるというものではありません。そのため、国際連合や各国の政府に加えて、上の新聞記事のような団体が協力してさまざまな取り組みを進めています。環境問題に限らず、^{ふんそう}貧困や紛争解決などの問題に取り組んでいる非政府組織の略称を、アルファベット 3 文字で答えなさい。

(2) 日本政府は、2019 年の「プラスチック資源^{じゅんかん}循環戦略」で、使い捨てプラスチックの^{はいしゅつ}排出量を減らすなどの目標を掲げ、レジ袋有料化など具体的な取り組みをはじめています。海洋プラスチックごみの問題に対応し、また二酸化炭素の排出を伴うプラスチックごみの^{しょうきやく}焼却処理量を減らしていくためです。この他にも国際情勢の変化により、国内のプラスチックごみ(廃プラスチック)の^{さくげん}削減を進める必要性がこの数年で生じていますが、その理由を下の説明文と表 3 を踏まえて説明しなさい。

家庭から出るペットボトルや包装容器などの廃プラスチックは、法律にもとづき収集・リサイクルされています。しかし、他のごみと混じったり、飲み残しや食べ残しで汚れたりしていると、リサイクルすることがむずかしくなります。日本では分別・^{せんじょう}洗浄の費用が高く、廃プラスチックの一部は主に中国に輸出されてきました。中国は 1990 年代から急激な経済発展を続けたため、国内だけで製品の原料を^{まかな}賄うことが困難となり、2000 年以降日本や欧米諸国から廃プラスチックの輸入を増大させてきました。廃プラスチックをリサイクル資源として活用し、繊維製品などに加工して輸出していました。

その中国が、2017 年に廃プラスチックの輸入を原則禁止にしました。廃プラスチックを処理する過程で汚水の垂れ流しや使えない部分の不法投棄などの環境問題が発生し、分別・洗浄の費用削減のための劣悪な労働も問題視されるようになったからです。中国以外の廃プラスチックを受け入れている多くの国のリサイクル事情は、輸入禁止前の中国と同様です。

国際条約が改正され、2021 年から汚れた廃プラスチックを輸出する際には相手国の同意が必要になりました。自由で迅速な物流は大切ですが、汚れた廃プラスチックに限らず、ものが移動した先で^{およ}及ぼす影響についても考える必要があります。輸出する側は、相手国の同意があったとしても、()ものを、国境を越えて移動させないなどの責任を担っていくことが、持続可能な社会を目指し、地球規模の問題を考えていくためには重要です。

表 3 日本の廃プラスチック輸出量の推移(日本の主な輸出先, 万トン)

		2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
総輸出量		152.7	143.1	100.8	89.8	82.1
国名	中国	80.3	74.9	4.6	1.9	0.7
	マレーシア	3.3	7.5	22.0	26.2	26.1
	ベトナム	6.6	12.6	12.3	11.7	17.4

(日本貿易振興機構^{しんこう}の資料より作成)

(3) 説明文を参考にして、文中の()にあてはまる内容を 1 つ答えなさい。

問 1	(1)	
	(2)	
問 2		
問 3	(1)	(2) (3)
問 4		
問 5	(1) 1つ目	
	2つ目	
	(2)	(3)
問 6	(1)	
	(2)	
問 7	(1) (2) (3)	
問 8	(1)	(2)
問 9	(1)	
	(2)	
	(3)	

		社 会
受 験 番 号		